

校訓：人のお世話にならぬよう，人のお世話をするよう，そして報いを求めぬよう

学校教育目標：自ら学び，心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



薫 陶

学校だより くんとう

特別号 令和5年8月24日

七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小 HP QR コード

令和5年度前期学校評価結果のお知らせ

爽秋の候，保護者の皆様には本校の教育活動にご理解，ご協力をいただき誠にありがとうございます。

今回の特別号では，1学期末に実施した保護者アンケートの結果をお知らせします。10月には前期学校評価アンケート結果を資料として学校評議委員会を開催し，評議委員の方々からご意見をいただく予定です。これらの結果やご意見を合わせ，今後の学校活動の改善に生かしてまいりますので，引き続きご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。アンケート回答等のご協力，ありがとうございました。

(数字は%：小数第1位の概数で表しているため，合計100%にはならない項目があります。)

よりよい生活習慣の定着		A	B	A+B	C	D	R4 後期 A+B
児童②	毎日，朝ごはんを食べていますか。	93.9	2.2	96.1	3.2	0.7	94
保護者③	子どもは，朝食を毎日食べている。	91.0	7.9	98.9	1.1	0	97
児童⑩	家で決めた，寝る時刻や起きる時刻を守っていますか。	50.4	41.7	92.1	7.2	0.7	90
保護者⑦	子どもが，約束の就寝時間を守るように努めている。	46.9	41.5	88.4	9.7 (その他1.4)	4.0	86
児童⑫	いつでも，どこでも，だれにでも進んであいさつをしていますか。	64.4	29.5	93.9	5.0	1.1	56
保護者②	子どもに，時と場に応じたあいさつを指導している。	58.1	39.4	97.5	1.8 (わからない1.4)	0	96

<□1学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて>

□朝食については大多数の児童が習慣化されています。また，「おうちで決めた寝る時刻や起きる時刻を守っている」の項目についても肯定的に評価しています。保護者も同様に朝食や就寝時刻についての意識が高くなっています。保健だよりで朝食や起床就寝時刻の重要性について啓発したり，すすくカードで就寝時刻を意識させたりしたこと等が成果につながっていると考えています。ただ，一部の児童については朝食や起床就寝時刻がまだ定着していません。保護者と連携しながら個別に対応していく必要があります。

□あいさつが定着してきました。児童委員会の「あいさつ運動の取組」を中心としたあいさつへの意識付けができたからだと考えられます。今後も，自然にすてきなあいさつができるよう取組を進めていきます。

◎朝食・睡眠の大切さについて子供たちに啓発するだけでなく，親子で話し合う機会を作ります。あいさつについても児童会の提案等児童主体の取組を中心に意識化を図っていきます。

豊かで健やかな心身の育成		A	B	A+B	C	D	R4 後期 A+B
児童①	学校へ行くのは楽しいですか。	61.9	32.7	94.6↓	4.3	1.1	98
保護者①	子どもは，学校へ行くのが楽しいと言っている。	51.3	42.2	93.5	5.1	1.4	90
児童⑤	1日（土日以外）に平均してどのくらいメール・ネットをしていますか。	していない 16.2	1時間未満 35.3	1～2時間未満 29.9	2～3時間未満 10.8	3時間以上 7.9	
保護者⑥	子どもは，1日（土日以外）に平均してどのくらいメール・ネットをしていますか。	5.1	27.8	39.7	21.7	5.8	

□平日2時間以上メディアに触れている児童が18.7%と高い値となっています。朝学習でネットトラブルを防ぐための動画を視聴したり、家庭学習週間を設けてメディアに関わる時間を減らしたりするなどの取組を行ってきましたが、まだ十分ではありません。今後も学校と家庭とが連携しながら、対策を講じていきます。

◎メディアが与える体への影響を知らせたり、河北台中学校とも連携を図りながら、メディアとの関わり方について考えていく必要があります。また、個別に面談を行ったりして解決にあたります。

確かな学力の育成		A	B	A+B	C	D	R4 後期 A+B
児童⑨	授業は わかりやすいですか。	62.9	33.5	96.4	2.9	0.7	94
児童④	家では、自分で計画を立てて勉強していますか。	50.7	35.3	86.0	8.6	5.4	83
保護者⑤	子どもは、自分で計画を立てて勉強している。	28.9	43.0	71.9 ↓	22.0 (わからない0.4)	5.8	74
児童⑧	授業で、聞き方名人・話し方名人・反応名人はできていますか。	41.0	49.3	90.3	7.9	1.8	89
児童⑬	1人1台のPCを使って、ミライシード・写真・動画撮影、インターネット検索・スライドなどを使うことができますか。	80.9	16.2	97.1 ↓	1.8	1.1	98
児童	学期末テスト（国語・算数）の平均点が全国平均を上回った学級の数	全国の平均点と比較して（全校12学級） （前期）国語 10/12学級 算数 7/12学級					
教職員	授業後半を充実させ、児童に「分かった」「できた」を実感させる授業に日頃から意識して取り組んでいる。	53.3	46.7	100	0	0	94
教職員	帯タイムや補充学習、合格テストを通して、基礎学力を身につけさせるための指導を個に応じて行っている。	53.3	46.7	100	0	0	100

□児童は、「授業はわかりやすい」の項目について肯定的に評価しています。「分かった・できた」を実感できる授業づくり、帯タイムの学習や補充学習など基礎学力の向上に結びつくような指導が成果として表れてきています。また、一人一台端末の活用が日常化されており、97.1%の児童が一人で、又はグループで使うことができると回答しています。

□「計画を立てて勉強」では、児童と保護者の肯定的な回答に開きがあります。児童は計画的に学習に取り組んでいると感じていても、保護者はそうは思っていない場合があることがわかります。

◎今後も、互いの考えや思いを聞き合いながら思考を深めていく授業を一層充実させていくとともに、一人一人に寄り添った指導を行い、児童の学力が着実に向上するように取り組んでいきます。また、一人一台端末が学習に有効に使えるよう指導を工夫していきます。家庭学習については、子供達の家庭での学習の取り組み方を家の人と一緒に計画を立ててみるのもいいかもしれません。

自己有用感・自己存在感の育成		A	B	A+B	C	D	R4 後期 A+B
児童③	将来の夢や目標を持っていますか。	72.3	16.5	88.8 ↓	8.3	2.9	89
保護者④	子どもは、将来の夢や目標を持っている。	35.4	39.4	74.8	21.3 (わからない3.2)	0.7	72
児童⑥	自分には、よいところがあると思いますか。	58.6	28.8	87.4 ↓	7.6	5.0	92
児童⑪	クラスや学校にとって、良いと思うことを自ら進んで行っていますか。	52.9	39.9	92.8	6.5	0.7	92
教職員	行事などの活動では、個々に目標をもたせ、活動後にはふり返りの際に、学校や学級のために頑張っている児童を価値づけ広めている。	85.7	14.3	100	0	0	100

□「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがあると思う」「クラスや学校にとってよいと思うことを、自ら進んで行っている」について、児童は肯定的に答えています。学校やクラスをよりよくするための活動を考えたり、クラスや同じ学年の児童のよさを見つけたりする取組が有効だったと考えられます。一方で、否定的な回答をした児童もいることから、一人一人の児童のよさを見過ごすことなく、友だちどうし、担任・他の職員からもその都度、よい姿を褒めていくことが大切だと感じています。学校全体で、友だちどうしでの認め合う活動をさらにひろめていきます。

◎今後も授業や日常生活の中で見られた児童のよさに対し、すかさず励ましたり称賛したりしていきます。また、なかなか社会性が高まらない限られた児童には、寄り添いながらその子のよさを見つけ、本人に伝え、自信をもたせるなど粘り強く指導を続けていきます。

いじめ対応		A	B	A+B	C	D	R4 後期 A+B
児童⑦	いじめは、どんな理由があってもいけないと思いますか。	97.8	1.4	99.2	0.7	0	97
保護者⑨	学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきている。	33.2	55.6	88.8↓	6.9	4.3	91
教職員	配慮が必要な児童の様子について、情報を記録・共有し、活用を図っている	56.3	43.7	100	0	0	100

<□1学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて>

□いじめは許されないものであるという児童の意識は99.2%で浸透してきました。しかし、0.7%（約2名）の児童の意識がまだつけられていないため、個別に対応していく必要があります。保護者も「学校のいじめの未然防止や早期発見の取組」について概ね肯定的に答えています。いじめアンケートやハートチェックアンケートの機会に合わせて、学級担任が個別に面談し、支援・指導を繰り返して行ってきた成果と言えます。また、週2回の職員間の情報共有タイムで、配慮が必要な児童について共通理解を図ったことで、全職員で対応することができました。生徒指導だよりを通して、いじめの未然防止・早期発見につながる取組を保護者に伝えたことも成果につながったと考えられます。ただし、いじめは悪いことと認識しているものの、友達に軽い気持ちで悪口やちょっかいを出してしまうことが時折見られるのが現状で、その都度、見逃さずに指導を重ねています。

◎今後も同様に、職員による情報交換で、些細なことでも情報共有を行うことで、いじめの未然防止・早期発見、組織的に対応して参りたいと思います。また、個別の面談によっては、担任だけではなく担任以外の職員とも面談を行うことができるよう、児童にとって相談しやすい体制を整えていきます。各学級で人間関係づくりを行うなど温かい関わりについての指導を繰り返し行い、相手を思いやる気持ちや態度の醸成を図っていきます。

<自由記述より>（個別に対応させていただいたものもあります。一部ご紹介いたします。）

温かいお言葉をたくさん頂戴し、誠にありがとうございます。頂いたお言葉を励みにしてがんばっていきます。

- ・子供が嫌な事があり精神的に不安定になっている時も担任の先生が相談にのってくれて、すごく感謝しています。
- ・担任の先生と一緒に遊んでくれる！と楽しそうに話してくれます。お勉強が苦手な子でも楽しく学校生活をおくれるような雰囲気があるんだなと改めて思いました。また学力向上の働きも感じられて、親としてもありがたいです。
- ・あいさつ名人などの取り組みは、あいさつ頑張ろうというやる気アップにつながり、とても良いと思いました。
- ・日頃から丁寧なご指導を頂き感謝している。図書室の本に興味を持てるような取り組みや、詩を覚えて校長先生に聞いてもらうことなど、七塚小学校の児童数を生かしたさまざまな工夫が子どもの登校意欲に繋がっていると感じ、有難く思う。いつもありがとうございます。
- ・毎日お忙しい中、個々に合わせた対応をいただきありがとうございます。進学し、子どもの生活が見えづらくなる中、こまめな連絡やHPの更新等で学校生活が分かりやすく、親としても安心していきます。これからもよろしく願います。
- ・いつもありがとうございます。（多数）

課題

☆学校からの様々なお知らせ・お便りについて

- ・行事予定表、給食献立表は頻繁に見るものなので紙で欲しいなと思います。図書日より、保健日より学年日より等はコドモンで充分だと思います。
- ・学年日より等、配布ではなくコドモンになってから、写真が変更されず去年のままであったり、文章も変更しなくてはいけない箇所がそのまま使用されていたりしているお便りが何回かあったので、読む側としては、少し残念に思いました。

→紙媒体でのお便りを望む声もあり、すべてを電子媒体にする予定はありません。1 家庭に数枚も同じ配付物が届くことがないように学校から配付されるお便りは長子のみとします。学級便り・学年日より・学校便りについては、児童の学校での様子をできるだけ知らせたいという思いで作成しております。今後、作成するお便りは間違えのないよう十分確認して発行・配信していきます。

☆学校・地域での安全対策について

- ・定期的に避難訓練をしてくださっていて感謝しています。ただ、例えば津波警報が出た際どこに避難するのか、不審者対策はどのようにされているのかなど、対策、方針等を保護者と学校で共有できたらと思っています。
- 様々な場面を想定した避難訓練をしています。年間を通して、「火災」「地震」「原発」「不審者」「津波」など、計画的に行っています。また、学校の危機管理マニュアルをHP に載せてありますので、ご覧ください。

- ・(前略) 我が家は家庭の方針で、友達と SNS で繋がることを禁止しているが、LINE をしている人同士だけの繋がり (LINE をしている人だけの仲間作りやその中での情報共有) というものができている印象がある。スマホを持っている、LINE をしているということが優位という風潮があるように感じる。そのような時代だからと片付けられることかもしれないが、今一度子ども達に指導していただきたい。

→学年に応じた情報教育に取り組んでいます。「スマホ・携帯電話に潜む危険」についても、外部講師とも協力して指導しています。一人一台端末を使っているからこそ、SNS との付き合い方に十分に注意して、情報モラルを守りながら使うことができるよう指導を続けていきます。学校・家庭が協力して子供たちに正しい使い方を指導していく必要があります。ご協力をお願いします。

- ・行事予定に記載されている時間をできるだけ守っていただきたいです。補習等があるさいはコドモンや連絡帳等で連絡がほしいです。(後略)

→予定時間での帰宅を守るよう確認しました。何らかの理由で、遅くなるようなことがありましたら、その都度ご連絡させていただきます。

☆開かれた学校に向けて

- ・もし可能なら、学校の図書室の本を親の私も借りてみたいと思います。親子で読書の時に、子供と一緒に読んでみたいです。中央図書室にはない本が小学校にはたくさんありそうなので。

→地域の方々が、学校に入ってくださいることは大変ありがたいことです。学校図書室の開放は難しいため、子供に本を教えてもらったり、図書日よりで紹介されている本を子供に借りてきてもらったりするなどしていただくとよいと思います。

- ・日々、教育および指導に感謝します。要望として社会 (仕事) との繋がりに重きを置いた授業構成となることを期待しています。もっと子どもが社会に興味を持って意見交換する、感じる、体験する、お金を稼ぐ、ことが必要と感じており、もっともっと課外活動を取り入れてくれると、ありがたく感じます。現実的に教員の方だけでは対応困難かと思われるので、外部の人を招いての対応など、ぜひご検討をお願いします。

→学校と地域はつながりを持ちながら教育に当たっていくことはとても大切です。学校コーディネーターを通して地域人材の発掘に努めております。教育課程の中で地域の方々の話を聞いたり体験したりする機会を少しでも多く持つことができるよう、今後も学習活動の工夫をしていきます。

貴重なご意見、ありがとうございました。今後の学校運営の参考にさせていただきます。